







平成29年度「魅力あふれる高校づくり推進事業」

各学校における事業評価

<西学区>

学 校 名		事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
32	鶴岡南山添校	<p><b>[黒川能についての学習]</b></p> <p>1 講話、実技                      (1) 黒川能教本を使い歴史や能の分類、継承する苦労など講話                      (2) 本物の面や扇を使い実際に舞う体験</p> <p>2 能楽の鑑賞会                      山添校体育館で、能と狂言を鑑賞</p> <p>3 ボランティア活動                      (1) 「水焰の能」会場設営                      (2) 「王祇祭」春日神社の石段の除雪</p>	<p>○身近にあった伝統芸能を知ることが出来て、素直に感動する姿が見られた。</p> <p>○学校の体育館で、素晴らしい能と狂言を鑑賞することが出来た。</p> <p>○学習の成果や感想を書くことで、書く力を養うことが出来た。</p>	<p>○地域のことに積極的に関わる活動ができています。</p> <p>○「水焰の能」「王祇祭」では、とても助かっておりありがたい。</p>  <p>王祇祭に向けた春日神社の除雪</p>
33	鶴岡北	<p><b>[多様な生き方に関する様々な情報を取捨選択、活用し人生設計して、決定できる力の育成]</b></p> <p>1 1年次生き方講演会「地元企業説明会」                      地域の活性化のために自分ができることを考えさせる</p> <p>2 1年次1日総合学習                      1を踏まえて実際に地元企業を見学し視野を広げさせる。</p> <p>3 2年次生き方講演会「大学模擬授業」                      1年次で考えた志を実現させるためには、どんな学問からのアプローチがあるのかを学ばせる。</p>	<p>○大学での学習や研究に触れることで、今後の高校生活を充実させようという姿勢が強まった。(2年次)</p> <p>○地元の良さを再発見し、かつ地元の企業のことを知ることができ、地元へ戻ってきて社会貢献したいという気持ちを持たせることができた。また、1つの会社の中でも様々な仕事をしていることに気づくことができた。(1年次)</p> <p>△進路に対する意識を高める機会にはなっているが、その気持ちが長続きはしない。(1, 2年次)</p>	<p>○社会人としてのあり方を考える意識づけとして役立っている。</p>  <p>1年「地元企業説明会」</p>

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
鶴岡工業	<p>[地域に貢献できる生徒を育成するための工業教育の充実]</p> <p>1 工業教育充実に向けた改善策を実施するとともに、資格取得、課題研究をさらに充実させ、「鶴工ものづくり展示会」や「鶴工研究発表会」では生徒の学習成果を広く公開する。</p> <p>2 夏季休業中に大学での研究体験に2先生数名を派遣し、向学心や地元で学ぶことで郷土愛を育むなど、キャリア形成の醸成につなげる。</p>	<p>○ものづくりや研究発表で概ね目標達成された。生徒のスキルアップが図られ、学校の活性化と地域からの理解と認知度が向上した。</p> <p>○山形大学での研修では、国際会議に発表する機会にも恵まれ、高等教育機関の魅力と興味を十分に得ることができた。</p> 	<p>○生徒・教員のスキルアップやコミュニケーション能力の向上、学校理解やPRにも繋がり、生徒の真面目さや頑張りが伝わると高評価をいただき、大変意義のある取組みで、今後も継続を強く希望するとの評価をいただいた。</p> <p>○今年度山形大学工学部と連携・継続の協定を結ぶことができ、今後研究や交流の取組みで大きな弾みとなった。</p>
34 鶴岡工業 定時制	<p>[鶴工定時 外へ出よう—未来につなぐ4年間 学び 体験 コミュニケーション—]</p> <p>1 学校見学と模擬授業の体験 山形大学工学部システム創成工学科見学と模擬講義</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・重要文化財旧米沢工業高等学校見学</li> <li>・機械システム工学科古川研究室の見学</li> <li>・工学部システム創成工学科の概要説明</li> <li>・模擬講義と実験（生徒参加）</li> </ul> <p>2 地域学習と地域交流の活動 地域に花を届けよう</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・手作りプランターにビオラとパンジーを植え、鶴岡市文化会館「荘銀タクト鶴岡」に寄贈</li> </ul>	<p>○山形大学工学部の見学と模擬講義を体験して、工学に対する興味関心を引き出し、視野を広げることができた。</p> <p>○大学の講義や実験を体験し知識を得ることができた。特に研究室見学で、院生から具体的な説明を聞き、大学で学ぶ意義を感じ取ることができた。</p> <p>○見学を通して進路関係の話題が広がり、生徒同士の対話と交流が増えた。</p> <p>△大学進学を希望する生徒が参加できなかった。</p> <p>○地域との交流・絆づくりを目的として、生徒が作業して作ったものを贈呈した。鶴岡市に喜ばれ、生徒が充実感を感じる事ができた。</p> <p>○作業と活動を通して生徒間の交流を深め自信を育てることができた。</p> <p>○鶴岡市・地域との交歓事業となり新聞 2 紙に掲載され、本校の活動を地域に紹介することができた。</p>	<p>○キャリア教育を進める上で、大学見学の意義は大きい。</p> <p>○生徒が実習で作成したプランターカバー、花の寄せ植え等を寄贈する等、地域と関わる活動として評価できる。</p> <p>○山形新聞、荘内日報に掲載され、地域に定時制の活動を知ってもらうことができた。</p> 

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
35 鶴岡中央	<p><b>[一人ひとりの着実なキャリア形成]</b></p> <p>&lt;普通科&gt;</p> <p>1 大学訪問（大学オープンキャンパス参加）</p> <p>2 協働的な学習によるテーマ別課題学習と発表</p> <p>&lt;総合学科&gt;</p> <p>3 産業社会と人間や総合学習、課題研究における体験的・実践的な学習</p> <p>4 地域の実態を知り、高校生として地域に貢献できることを考えさせる学習</p>  <p style="text-align: center;">ゆかた着付け教室</p>	<p>&lt;普通科&gt;</p> <p>○模擬授業を体験し、学問のおもしろさを学ぶことができた。また、学部学科の具体的な情報収集を行うことで進路決定に役立った。</p> <p>○地域課題について庄内総合支庁の方に講話をいただき、探究学習に主体的に取り組むことができた。</p> <p>&lt;総合学科&gt;</p> <p>○外部講師（地域人）による講話や実技講習を通し、各系列の特色を活かした学びをすることができ、専門的な技術と知識の習得に大いに役立った。</p> <p>○△総合学科発表会では、各年次取り組んできたことの成果を十分に発表することができた。しかし、平日開催だったため、来場者数が減少した。</p>	<p>○総合学科発表会参観者アンケートでは、参加して学校の様子を理解するために役立ったという答えが多かった。</p> <p>△保護者による教育評価で、「教育活動を家庭や地域に伝える努力をしている」79.6%（前年比-5.5%）</p> <p>・同項目 教職員の評価は98.4%（+9.5%）と差が大きく、保護者にきちんと伝わっていないものもある。</p>
37 庄内農業	<p><b>[県産小麦を利用した商品化開発と加工技術の習得]</b></p> <p>1 県産小麦を利用した商品開発と加工技術の習得</p> <p>(1) 地域の農業者と小麦の播種と収穫を体験</p> <p>(2) 提供していただいた小麦の製粉し利用した</p> <p>2 地域の加工業者からの技術指導および製品開発</p> <p>(1) 庄内町新産業創造館クラッセ 6次産業担当者からの実技指導</p> <p>(2) 株式会社東北ハムによる精肉加工実習</p>	<p>○6次産業に地域で携わる方からの実際に指導していただくことでプロの視点からの実験実習を受けることで生徒の製造技術の向上と地域実践されている六次産業を学ぶことができた。</p> <p>△時間枠での実習の組み立て事前準備の必要性</p> <p>△本校産小麦の生産の構想があったが現状では厳しいと判断</p>  <p style="text-align: center;">クラッセ実技指導</p>	<p>○地元産原料の利用に大いに期待している。</p> <p>△HACCPの学習も併せて実施したらどうか。他県の農業高校でやっているように認証を取るように検討を。</p> <p>△6次産業化は多岐にわたるが大切なのは販売することパッケージ賞味期限にも工夫を。</p>

学 校 名	事業名及び事業内容	自己評価 良好な点：○、課題が残る点：△	学校関係者評価 良好な点：○、課題が残る点：△
36 加茂水産	<p>[学校の特色を生かし、地域に根ざした教育活動の実践]</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 スジエビの確保と飼育・情報収集</li> <li>2 保育園・小学校との種苗放流、出前授業</li> <li>3 養殖施設見学</li> <li>4 つるおか大産業まつり、県産業教育フェアへの参加</li> <li>5 実習船で漁獲した魚や地元の魚を使った料理教室</li> <li>6 地元水産物を使った製品づくり・製品開発</li> <li>7 海洋教育促進拠点に向けた研究</li> <li>8 地元漁業体験（底引き網、定置網）</li> </ol>	<p>○本県ではクルマエビ放流事業が中断しており、実習でエビ類を扱うことがなくなっていたが、スジエビを採取・飼育してみて、教材として有効であることが判った。</p> <p>○大山小学校で出前授業を行い、ヒラメとクロダイの合同放流を行なった。由良保育園とはハタハタの輸送と加茂水族館の展示を行なった。生徒が先生となりよい学習の機会となった。</p> <p>○内水面養殖場を見学し、シロザケの遡上など現場実習を行なうことができた。</p> <p>○地元料理人を講師に招き鳥海丸で漁獲したクロマグロや地元のカンパチやヒラメなど大きな魚の捌き方や調理の方法などを学んだ。近年、調理に関する生徒の興味・関心が高まってきており、意欲的に取り組んでいた。</p> <p>○カニ缶詰やサンマ魚醬、サンマ節などSPH事業と関連した試作品作りも行なうことができた。生徒の課題解決能力や探究心も向上し、課題研究や総合実習など授業でも多くのアイデアが出されるようになった。</p> <p>○海洋教育については、海洋教育プログラムとして「庄内の魚食文化」や加茂地区の聞き書きに参加し、「浜文化の伝承」について調査し、ポスターにまとめ、校内や全国海洋教育サミットで発表した。生徒は外部指導も受けながら意欲的に取り組んだ。</p>	<p>○実際に産業界や大学・他学校等を訪問して、最新の技術等にふれた研修をとおして専門性への興味関心が高まり、人材輩出にもつながった。</p> <p>○窒素氷、アワビの食害、紅ズワイガニ、サンマを原料とした新製品開発や海洋教育の探究などの取組は、地域課題に密着した素晴らしいものである。</p> <p>△他関係機関との今後の連携に向けて一層期待したい。</p>



加茂水族館で由良保育園児とのハタハタ学習会




38	庄内総合	<p><b>【自己実現を図るためのキャリア教育】</b></p> <p>&lt;1年次&gt; <b>【自己理解】</b></p> <p>1 「WAKU WAKU WORK ～高校生と若者（企業）との交流会～」</p> <p>2 外部講師による「社会人講話（マナーアップ）」</p> <p>3 NHKアナウンサーによる「コミュニケーション能力養成講座」</p> <p>&lt;2年次&gt; <b>【自己表現】</b></p> <p>4 外部講師による「社会人講話」「聴き方講座」「生き方講座」</p> <p>5 「地元企業との交流会」</p> <p>&lt;3年次&gt; <b>【自己実現】</b></p> <p>6 外部講師による「マナーアップ講座」</p> <p>7 「模擬面接」</p> <p>8 自己理解・自己実現・自己表現を培う「地域での活動」 など</p>	<p><b>【1年次】</b></p> <p>○仕事を知り、自分の適性を考え、希望職種の就業体験や進学ガイダンスなどを経て、少しずつ進路を意識するようになってきた。</p> <p>△進路目標に向かって主体的に学び、自己表現できる力が必要。</p> <p><b>【2年次】</b></p> <p>○様々な講座、講演、企業との交流会などを通して自分のライフプランを考え、パワーポイントにまとめ発表できた。</p> <p>△相手に自分の考えを伝えるコミュニケーション力をさらに磨く。</p> <p><b>【3年次】</b></p> <p>○就職・進学ともに全員が進路を実現することができた。地域資源を活用した授業、企業との交流会など様々な経験が、相手の話を理解し自分の意見を伝える力の発揮につながっていると考えている。</p> <p>△キャリア学習と基本的な学力の両面を育成することが必要。</p> <p><b>【全体】</b></p> <p>○インターンシップ(1年次)、ライフプラン(2年次)、卒業研究(3年次)と各年次の発表の様子を比較すると、発表内容の組み立て方やパワーポイント用いた発表技術等の面に見られる。</p> <p>△様々な取組みがイベントで終わらず、一人ひとりの心に響き、自己の生き方・在り方を考える機会となるようにする。</p>	<p>○行政課題に関心をもって調査・提案を行うふるさと探究は、生徒が自分達の住んでいる地域に愛着を持つ良い体験となっている。</p> <p>○キャリア教育の取組みが高く評価され、この度、文部科学大臣表彰を受賞したことは、生徒の自信と誇りになることで大変喜ばしいことである。</p>
----	------	--	--	--



地元企業交流会

40	酒田西	<p><b>[個に応じたコース制の充実と探究学習を活かしたキャリア教育の実践]</b></p> <p>1 英語コース：外部講師による講義 元本県 ALT の Chris Broad 氏による特別講義 (11/22)</p> <p>2 芸術コース (美術)：美大まるごと体験合宿 東北芸術工科大学での講義・実技指導</p> <p>3 探究学習 (理科)： 山形大学農学部で大学教員の講義受講</p> <p>4 探究学習：進路に係る生徒の主体的な学び (1) 東北公益文科大学の教員による、プレゼンテーションの仕方についての講義 (2) 探究学習発表会</p>	<p>○進路を意識した意欲的な活動ができた。</p> <p>○自分が関心を抱き、解決していきたい課題について探究することで進路意識の高まりが見られた。</p> <p>○プレゼンテーションにあたって注意すべきことを学び、実際の発表に活かすことができた。</p> <p>○大学での学びを通して、広い視野と深い視点、研究者の研究に対する厳しい姿勢を学ぶことができた。</p> <p>○教科としての英語ではない、情報を得るためのツール、国際共通語としての英語を意識する絶好の機会となった。</p> <p>△講師等との事前の打合せが不十分なところがあった。 △生徒の事業の意義や講義内容の周知など、事前準備をもっとしておくべきであった。</p>	<p>○キャリア教育と教科学習を合体させた取組がなされている。</p> <p>△これから自分が進む道のイメージをもたせて、学習への動機付けにつなげていってほしい。</p> <div data-bbox="1688 381 2042 616" data-label="Image"> </div> <p>美大まるごと体験合宿</p>
	酒田西 定時制	<p><b>[コミュニケーション能力育成事業]</b></p> <p>1 食育 (地場野菜作り)</p> <p>2 食育 (調理実習)</p> <p>3 地域探訪 (山形県防災学習館見学・体験・応急手当体験、酒田米菓工場見学)</p> <p>4 地域コミセン文化祭参加</p> <p>5 進路研修 (酒田調理師専門学校)</p>	<p>○地域のコミセン文化祭へ三度目の参加となったが、会を重ねるに連れ、生徒たちの積極性・コミュニケーション能力の向上が見られる。</p> <p>○食育・地域探訪では年次を超えた班編成で活動を行った。そこから、生徒間のコミュニケーションが広まり、深まっていった。</p> <div data-bbox="1267 898 1615 1098" data-label="Image"> </div> <p>地域探訪 (応急手当体験)</p>	<p>○多彩な活動を展開し、野菜作りから調理実習までお互いが連携している所が良い。</p> <p>○地域を探訪して興味が湧き、総合的な学習の時間のテーマの一つになるなど、学習を深めている。</p> <div data-bbox="1794 922 2089 1125" data-label="Image"> </div> <p>進路研修</p>

41	酒田光陵	<p>【「総合的な地域本部」設立プロジェクト】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 酒田まつり等の行事のために、絆纏を購入・使用したことで参加体制が拡充された。また、山鉾の整備も組織的に行われた。</li> <li>2 学習指導のための学校応援ボランティアの協力を得て、個に応じた指導が充実した。</li> <li>3 小学生対象のものづくり体験指導も予定通り実施することができた。</li> </ol>	<p>地域社会から寄せられる生徒への期待と好評価は、生徒の自己肯定感とともに地域社会を支える一員という自覚を育んだ。</p> 	<p>○生徒が積極的に地域社会と関わっていることは、双方にとって良い結果をもたらしている。学びの内容もよく発信されている。</p>
42	遊佐	<p>【社会的自立を目指し、キャリアデザインしよう】</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1 新規に開講する学校設定科目の充実と授業支援 <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)「地域デザイン」校外学習と出前講座</li> <li>(2)「フードデザイン」郷土料理教室「笹巻き作り」</li> <li>(3)食育事業における外部講師招聘</li> <li>(4)授業ボランティア</li> </ol> </li> <li>2 外部講師によるキャリア学習進路ガイダンス・スキルアップのための外部講師招聘</li> <li>3 人とつながる人間力の育成と向上 命の授業 映画「うまれる」鑑賞</li> <li>4 外部講師とPTAによる模擬面接会</li> <li>5 総合学科における学習成果の発表</li> <li>6「産業社会と人間」のまとめとして「私のライフプラン」作成</li> </ol>	<p>○授業をはじめとする様々な事業における地域で活躍している人々との出会いと交流を通して、地域の魅力の再発見や地域貢献活動への意欲が高まった。学校評価アンケートの「地域の特色を生かした教育活動」に満足していると答えた割合は、生徒 82%、保護者 91%である。</p> <p>○命の授業では、親や家族への新たな感謝の気持ちが芽生えるとともに、自己肯定感を高めることにつながった。</p> <p>△自己肯定感の低い多くの生徒で改善がみられるが、まだまだ校内での生活・活動に限定されている傾向がある。身近な地域社会活動への興味・関心の醸成と主体的かつ積極的な参加・活動につなげたい。</p>	<p>○「総合学科での学び」の発表会や展示会など、生徒の学習活動や成果が公開され、地域貢献につながった。</p> <p>△元気な生徒の育成と生徒確保につながる魅力ある学校作り。</p> 